

用語解説

名 称	解 説
目視点検	<p>コンクリート構造物の表面劣化、亀裂の状況を目視確認により行う点検。</p> <p>建 物：表面劣化、亀裂（1 回 / 3 年） 構築物：表面劣化、亀裂（1 回 / 1 年）</p>
アルカリシリカ (アルカリ骨材) 反応性試験	<p>アルカリシリカ反応性試験とは、骨材がアルカリシリカ反応性を有しているかを調べるための試験である。一般的な試験方法としては、化学法およびモルタルバー法等がある。</p> <p>モルタルバー法 骨材の潜在的なアルカリシリカ反応性を調べる物理的方法。 モルタル（水＋セメント＋砂）がどれだけ膨張するか測定し評価する方法。所定の粒度に粉碎した骨材とセメントを一定の比率に配合してモルタル試料を作り、その膨張率を測定し判定する。 モルタルバー法による試験は、工事開始前および工事中に実施する。</p>
反発度法による 強度試験	<p>コンクリートの表面をテストハンマーによって打撃し、その反発の度合いにより圧縮強度を求める方法。</p>